



令和元年度

山形県立図書館要覧

山形県立図書館

目 次

1	山形県立図書館のあゆみ	1
2	山形県立図書館令和元年度運営方針	5
3	組 織	9
4	山形県図書館協議会	10
5	山形県立図書館の予算	11
6	施設の現状	12
7	所蔵資料	13
	（1）蔵書、視聴覚資料等	13
	（2）データベース	14
8	レファレンス協同データベース（国会図書館）	15
9	パスファインダー	16
10	絵本の本棚	17
11	ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック）	17
12	利用の状況	18
	（1）図書館利用概況	18
	（2）図書資料利用状況の推移	19
	（3）図書資料貸出利用の年齢構成	20
	（4）図書資料予約受付数	20
	（5）県立図書館から市町村立図書館（室）への貸出数推移	21
	（6）調査相談件数の内訳	22
13	平成30年度事業実績	23
14	利用の案内	25
15	市町村立図書館の設置状況	26
16	縣人文庫展示者のプロフィール	27
17	山形県立図書館利用規程	29

1 山形県立図書館のあゆみ

【 月.日 】

年	山形県立図書館	県内図書館等
明治18		谷地読書協会創立【2.--】
33		谷地青年会発足、青年文庫設置【5.10】
34		酒田書籍購読会発足【10.--】
36		私立山形図書館、開館(私立山形幼稚園の階上)【4.3】
37		酒田書籍購読会を酒田文庫と改称【4.--】
38		私立置賜図書館(長井町)創設【4.--】 平民文庫縦覧所(山形市)設置【7.--】
39		明倫文庫(新庄町)創立 町立荒砥図書館(荒砥小学校内)創立【6.17】 私立照心書院(長井町)創立【8.--】
41	東宮行啓記念事業として県立図書館の創立を県会が決議【12.--】	小松至誠会付属図書館、創立【12.--】
42	私立山形図書館閉館、蔵書等を県立図書館に寄贈【3.31】 「行啓記念山形県立図書館」設立認可(文部省告示)【5.13】	赤湯町立図書館、創立【8.--】 南村山郡立図書館(上山町)創立【9.--】 財団法人米沢図書館、開館【10.17】 酒田文庫を私立酒田図書館と改称【12.--】
43	行啓記念山形県立図書館落成(総建坪119坪) 行啓記念山形県立図書館開館、一般閲覧開始【5.25】	
44	山形市北部大火、本館類焼、蔵書10,344冊を焼失【5.8】 仮事務所を専称寺に置く【6.1】	私立鶴岡図書館、設立【11.--】
大正元	山形物産陳列場に仮事務所を移転【11.11】	村立余目図書館(余目尋常高等小学校に併設)開館【11.1】
2	行啓記念山形県立図書館の新館舎落成(建坪143.5坪)【12.31】	
3	新館舎での一般閲覧開始【3.5】	
4		私立左沢文庫、創立【3.--】 鶴岡町立図書館(大宝館に併設)創立【11.10】 谷地図書館設立、開館【11.24】
5		西村山郡立図書館(寒河江市)創立【4.--】 第11回全国図書館大会を山形ほかで開催【10.9】
9	受験用巡回文庫創設(県下中学校を巡回)【1.--】	
12		財団法人光丘文庫、設立【6.1】
14		山形県図書館協会、設立【7.10】 私立酒田図書館、蔵書を光丘文庫に寄贈して解散【3.28】
昭和3		新庄町立図書館、創設【4.1】 東北北海道図書館連盟、成立【4.29】
9	行啓記念山形県立図書館を山形県中央図書館に指定(改正図書館令)【4.19】	
10		赤湯町立図書館臨雲文庫、開庫【4.29】 山形県図書館協会、農村更生文庫設立【12.--】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和11		「山形県図書館協会報」創刊【4.20】、第12号より「山形文化時報」に改名
13		財団法人米沢図書館の寄附を受け、市立米沢図書館設立【4.1】
14		小松至誠会付属図書館、小松町立図書館となる【4.27】
20	図書館蔵書を東沢村蓬来寺に疎開 7,410冊【7.20】、3,937冊【8.3】 疎開蔵書帰還【10.21】 進駐軍への図書館舎明渡し通告【11.22】、図書館事務室は日赤山形県支部に移転し、蔵書は山形二中に移転	
21	山形県婦人会館の2階で一部一般閲覧開始【6.17】	
22		山形県読書連盟発足【12.14】
23	仮館舎、山形中学校剣道場での一般閲覧開始【2.16】	
24		寒河江町立図書館、設立【11.--】
25	日本十進分類法(新訂6版)、日本目録規則、日本件名標目法を採用【6.6】 「行啓記念山形県立図書館」を「山形県立図書館」に改称、山形県中央図書館の指定解除【7.30】 山形県立図書館条例制定【8.31】	酒田市立図書館(光丘文庫に併設)創立【4.1】 図書館法公布【4.30】、施行【7.30】
26	初の移動図書館を実施【10.12】	
27	田川地区(鶴岡)、最上地区(新庄)に配本所設置【4.--】	
28	仮館舎から本館に戻り閲覧開始【3.1】 館報「図書館だより」発刊【5.10】 東南置賜(宮内)、西置賜(長井)、西村山(左沢)、北村山(楯岡)に配本所設置【6.--】 飽海地区(酒田)に配本所設置【9.--】	私立龍門図書館、設立【11.--】 山形県公共図書館協議会、結成【11.3】
30	南置賜地区(米沢)に配本所設置【3.--】 東南村山地区(天童・上山)に配本所設置【6.--】 田川地区配本所を鶴岡分館に【7.1】、南置賜配本所を米沢分館とする【11.--】	
31	最上地区配本所を新庄分館とする【6.--】	
32	飽海地区配本所を遊佐町に移転し、市立酒田図書館内に酒田分館を設置【5.--】	山形点字図書館を山形盲学校内に創設【12.--】
33		財団法人光丘文庫、酒田市に寄贈【4.1】 酒田市立光丘図書館に改称
34	赤湯分館を設置【9.--】 北村山配本所を尾花沢市に移転【11.--】	
36	自動車文庫(やまなみ号)巡回開始【10.2】	
37	図書館新築(県民会館と併設～図書館面積2,212㎡)、開館【8.16】	
40		山形県公共図書館協議会を山形県図書館協会に改称【6.10】
42		町村合併により南陽市立図書館開館、赤湯町立図書館臨雲文庫を南陽市立結城記念館に改称【4.1】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和46		川西町立図書館、開館【7.--】
47	分館の廃止【6.--】	
50		西川町立図書館、開館【10.1】
51	協力車運行開始(自動車文庫「やまなみ」廃止)【4.--】	山形新聞社内に山形中央図書館開館【9.25】
52	「山形県関係文献目録」刊行【3.25】	
53		山形県立点字図書館、開館【4.1】
54		村山市立図書館(旧、私立喜早彦太図書館)開館 山形市立図書館新築、開館【7.1】 尾花沢市民図書館開館【7.--】
56		長井市立図書館移転新築し、開館【5.20】
57		酒田市立中央図書館(総合文化センターに併設)開館【4.1】
58		高島町立図書館、開館【4.1】 天童市立図書館移転新築し、開館【7.1】
60		鶴岡市立図書館移転新築し、開館【7.24】
61		楡引町立図書館、開館【4.--】
62		遅筆堂文庫(川西町)開館【8.--】
63	「県立図書館、生涯教育センター」の着工【1.30】	新庄市立図書館移転新築し、開館【8.3】
平成元		山形地区図書館連絡協議会、現物(相互)貸借申合わせ実施【10.20】
2	遊学館(県立図書館 6,085㎡、生涯学習センター 5,641㎡)へ移転、開館【7.28】	
3	「山形県内出版物目録」刊行開始【3.--】	飯豊町町民総合センター図書室、開館【7.21】 遊佐町立図書館新築、開館【7.23】 寒河江市立図書館移転新築し、開館【12.10】
4		山形県公共図書館(図書室)相互貸借規程など図書館間協力に関する諸規程を整備【10.21】
5	「山形県立図書館運営方針」【3.--】	山形県図書館協会、「特定主題文献目録」刊行【3.--】
6		川西町立図書館・遅筆堂文庫、川西町フレンドリープラザに移転し、開館【8.1】
7		河北町立中央図書館(総合交流センターに併設)開館【6.16】
8		上山市立図書館移転新築(カミンの5階)、開館【6.1】
9		尾花沢市学習情報センター(悠美館)に尾花沢市民図書館移転【4.29】
11		東根市さくらんぼ図書館(JRさくらんぼ東根駅舎に併設)開館【12.4】
12	全国公共図書館奉仕部門研究集会を、遊学館において開催【10.5~6】	朝日町立図書館(「創遊館」に併設)移転、開館【6.5】
13		南陽市立図書館(「えくぼプラザ」に併設)移転【3.27】
14	山形県立図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索の公開【4.19】	
15	「県立図書館運営方針(改訂版)」【3.--】 山形県関係文献目録をインターネットに公開【4.16】	
16		新聞雑誌に関する協定(分担収集)、施行【6.30】

年	山形県立図書館	県内図書館等
平成17	新図書館情報システム運用開始【4.5】	ゆとり都OPAC公開【3.18】 立川町、余目町合併により庄内町立図書館及び分館発足【7.1】 鶴岡市、藤島町、羽黒町、榎引町、朝日村、温海町合併により藤島、羽黒、榎引、朝日、温海分館発足【10.1】 酒田市、八幡町、松山町、平田町合併により八幡、松山分館及びひらた図書センター発足【11.1】
18	開館日の拡大～祝日(月曜日及び年末年始を除く)、1月4日、12月28日を開館日に変更【4.1】 カウンター業務に全て司書有資格者(嘱託18名)を配置【4.1】 生涯学習センターに指定管理者制度を導入【4.1】	県教育委員会、「山形県子ども読書活動推進計画」策定【2.--】
19	山形県公立図書館横断検索システム運用開始【6.22】 インターネット予約貸出しシステム運用開始【10.2】	河北町立中央図書館、川西町立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
20		天童市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
21		新庄市立図書館、長井市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
22	山形県立図書館開館100周年記念事業実施【11.6】	東根市さくらんぼ図書館、指定管理者制度導入【4.1】 村山市立図書館(「甌葉プラザ」に併設)移転【5.29】
23	図書館情報システム更新【3.1】	
24		中山町立図書館移転、開館【4.30】
25	全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)を、村山市甌葉プラザで開催【10.24～25】	
年度	山形県立図書館	県内図書館等
平成26	県図書館協議会が「県立図書館の将来のあり方について」を提言【3.18】	—
27	図書館ボランティア活動開始【8.--】 ICタグの導入・ICゲート設置【2.25】 「県立図書館活性化基本計画」策定【3.--】	—
28	マルチメディアDAISY図書貸出開始【4.--】 図書館情報システム更新【3.14】 ・自動貸出機設置 ・ホームページのリニューアル(横断検索《市町村等図書館の蔵書検索》の検索時間短縮、貸出延長手続きがHPで可能に)	遊佐町立図書館、指定管理者制度導入【4.1】 市立米沢図書館(新文化複合施設「ナセBA」に併設)移転【7.1】 大江町立図書館移転、開館【7.18】 東根市図書館(東根市公益文化施設「まなびあテラス」に併設)移転【11.3】 鶴岡市立図書館羽黒分館移転、開所【1.10】
29	県立図書館の大規模改修計画の概要発表【12.19】	大石田町立図書館新設・開館【9.1】
30	県立図書館大規模改修工事開始 第1期工事【9.--～12.--】 第2期工事【2.--～】 第1期工事完了後の2階の一部を臨時図書館エリアとしてサービス開始【2.12】	—

2 山形県立図書館 令和元年度運営方針

1 運営方針

「県立図書館の将来のあり方について」（平成27年3月策定。以下「あり方」という。）に掲げる基本理念『県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点』を目指し、「県立図書館活性化基本計画」（平成28年3月策定）も踏まえながら運営していく。

本館は本年9月まで大規模改修の第2期工事期間中であり、多くのエリアが立入り禁止区域となっているが、第1期工事が完了した遊学館2階の一部を臨時図書館エリアとしてサービスを提供していく。

限られたスペースの中で、閲覧貸出返却、レファレンスなどの直接サービスのほか従来どおり相互貸借等の市町村支援を行っていく。

工事終了後、相応の準備期間を経て年度内にリニューアルオープンすることとなる。本年は、新しい図書館においてどのようなサービスをどのように提供していくか、利用者ニーズはどんなものがどこにあるのかなど、より多くの方から喜んでいただく、利用していただくことを目指し、各種規程やマニュアルなどの見直し・整備も併せて検討していく年になる。

県民・利用者、市町村立図書館・学校図書館などから寄せられる大きな期待に応えられるよう、すべての面において検討、見直していく。

2 主な取組み

（1）県立図書館の大規模改修の実施

- ① 本県における「知の拠点」として県民ニーズに適合した施設づくりに努める。
- ② 改修工事中もできる限り利用者サービスを継続し利用者の要望に応えていくとともに、各種市町村支援についても継続実施していく。
- ③ 新たに設置予定の、「子ども用エリア」「おはなしの部屋」「アクティブラーニングルーム」などの効果的な活用の仕方を検討する。

（2）県内図書館の中核的役割の発揮

① 資料整備の推進

県内公立図書館・図書室（以下、「県内公立図書館」という。）との役割分担を踏まえ、専門性の高い資料についても積極的に収集に努め、県民の知的ニーズや情報ニーズに応える。さらに、大規模改修に合わせ多くの魅力ある資料を幅広く収集し充実した蔵書構成となるよう努める。

② 相互貸借、インターネット予約及び特別貸出の推進

県内公立図書館との相互貸借やインターネット予約について県民に周知するとともに、県内公立図書館や学校図書館等への一括特別貸出を促進し、県民の誰もが県立図書館の資料を利用できる環境づくりを進める。

③ 県内公立図書館の機能向上の支援

レファレンス等サービスの実施、資料整備、その他図書館運営に係る県内公立図書館からの要請に応じて、情報提供や助言を行い、そのサービス機能の向上を支援する。

④ 県内公立図書館との連携事業の推進

県内の図書館活動の広報や読書推進に係る事業について、県内公立図書館と連携して実施する。

⑤ 県内公立図書館職員の研修支援

県内公立図書館職員を対象として、県内外の有識者による図書館機能の充実・図書館施設の円滑な運営等に資する研修を実施し、県内公立図書館職員の資質の向上を図る。

また、県内公立図書館が実施する研修等に講師を派遣するなどにより、公立図書館職員の研修を支援する。

⑥ 学校図書館との連携の推進

学校図書館の活動支援及び児童・生徒の県立図書館利用促進に向けて、学校図書館関係教職員・学校司書・図書委員の研修の受入れや共同の取組みを進める。

高等学校及び大学・短大等については直接支援し、小中学校については主に地元市町村図書館（室）に協力することを通して支援を行う。

⑦ 調査相談（レファレンス）の充実

調査相談活動の充実を図るとともに、レファレンスツールの整備を進める。

また、レファレンスの事例についてホームページ等で紹介するほか、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」の活用についてもPRしていく。

⑧ 職員の資質の向上

県内図書館の中核的役割を担いえる職員の育成に資するため、外部の研修等への参加や内部研修機会の充実に努め、図書館全体としての支援能力と専門性の向上を図る。

（３）県民ニーズ実現のための積極的支援

① 地域の課題解決や地域活性化への支援

医療、福祉・介護、教育、法律問題など県民の日常生活上の課題解決や地域づくり、防災など地域コミュニティの課題解決、あるいは郷土の歴史、食・観光などの情報提供、さらには地域活性化に資する活動について支援する。

当面、課題解決に資する資料の整備を行うとともに、民間団体及び行政機関の取組みやイベントと連携して関連資料を展示する企画展を開催する。

② 知的情報の発信

県民の知的ニーズや情報ニーズに応える講座や県民参加型のイベントを実施する。

また、「山形県図書館職員専門研修」を公開講座として実施する。

③ 読育の推進

子育て支援機関や教育機関などへの団体貸出を促進するとともに、各団体と連携し、出前図書館、読み聞かせ会その他の活動を行う。

また、読み聞かせ活動・読書推進活動への支援を行う。

④ 地域政策課題解決の支援

行政機関等関係機関に地域政策課題解決のための図書資料の紹介や図書館活用を積極的にPRするとともに、ホームページその他の媒体等を通じて、地域政策課題に関する資料の情報を関係機関に提供する。

⑤ 貴重資料デジタル化の推進

貴重資料等のデジタル化とホームページでの公開を進める。

⑥ 積極的な情報発信による認知度の向上

図書館活用をアピールする話題性のある企画を実施するとともに、県立図書館の活動をひろくPRするため、パブリシティの活用及びホームページやフェイスブックによる情報発信を積極的に行う。

また、図書館のイベント、新着図書、施策等に関するお知らせ、県内公立図書館の情報などを掲載した「本の森通信」を定期的に発行する。

⑦ ボランティアの受入れ等、図書館運営への県民参加の推進

ボランティアの受入れは、改修工事期間中一時中断しているが、リニューアルオープンに向け、図書館の利用案内、資料整理、配架、図書館イベントへの協力等の活動に加え、より活躍の場が広がるよう検討する。

また、雑誌スポンサーの拡大を引き続き図る。

(4) 県民本位の利用しやすい図書館づくり

① 開館日の増加等

祝日となる月曜日の開館について、大規模改修を見据え引き続き関係機関と検討を進める。

② 蔵書管理の充実による利便性の向上

平成 29 年 3 月に更新した図書館情報システムと連携した I C タグによる蔵書管理システムについては、自動貸出機のPRを含めさらに円滑な運用を図る。

③ インターネット・複写サービスの利便性向上

大規模改修に合わせて、Wi-Fi 環境の導入に努める。

また、カラー複写サービス用機器の整備について引き続き検討する。

④ 障害者、高齢者、乳幼児及び同伴者等へのサービスの向上

大型活字本や「マルチメディア DAISY」及び朗読CDの充実を図る。

また、大規模改修にあたっては、低学年児や乳児とその同伴者が気兼ねなく利用できる「子ども用エリア」の整備に努める。

⑤ 親しみやすく、発見のある図書館づくりの推進

親しみやすく気兼ねなく利用できる雰囲気づくりについて、施設の整備・運用と事業実施の両面で検討していく。

また、手作り感を生かしたポップの掲示やアイデアを活かした企画展示を実施するとともに、「本の森講座」、「山形県図書館職員専門研修」の公開などの多様な事業を実施するほか、大規模改修後を見据え、親しみやすく訪れる度に何か発見のある県立図書館の実現のための方策を検討する。

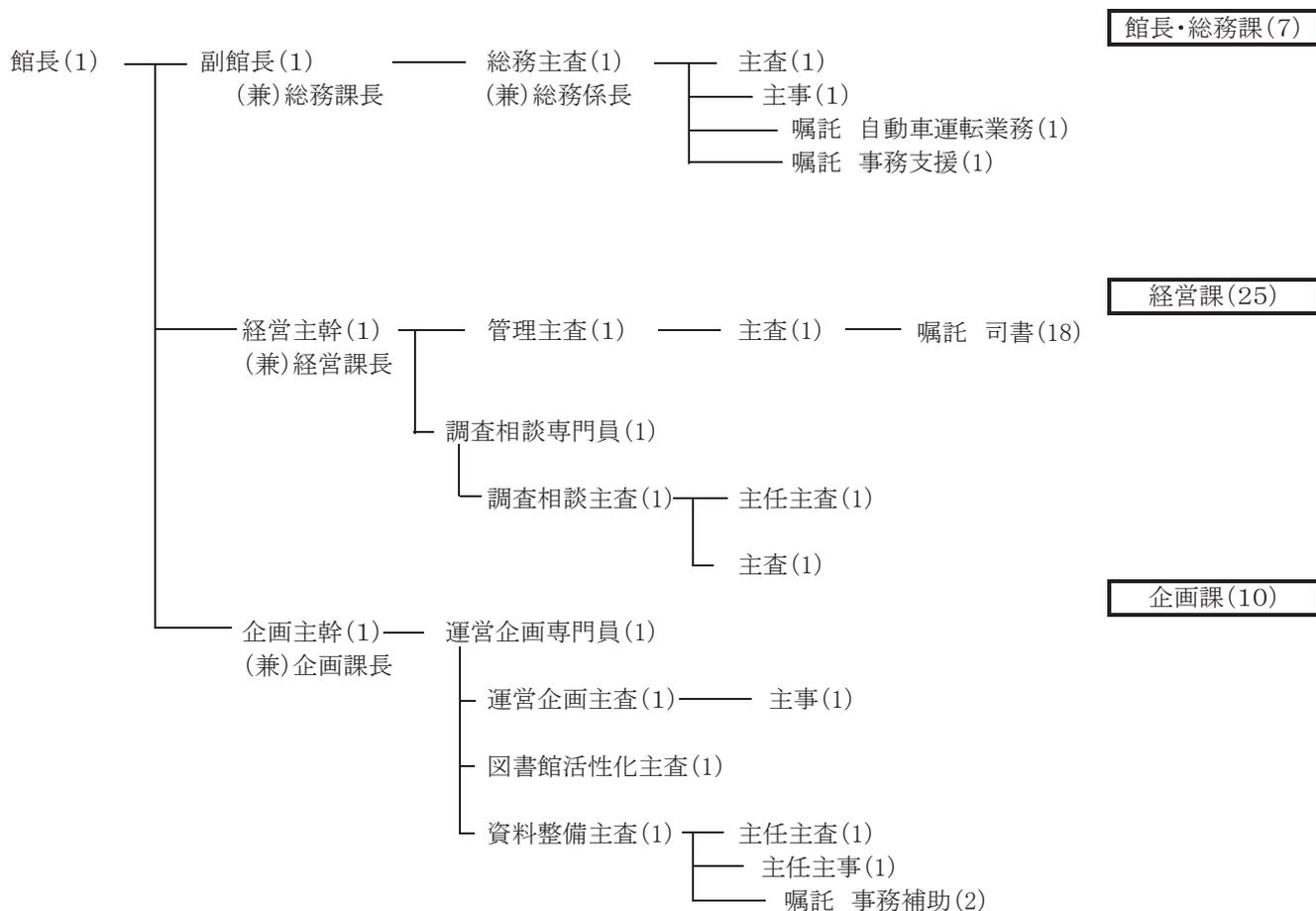
⑥ 県民活動や地域の活性化につながる取組みの展開

県民活動や地域の活性化支援につながる企画展示やイベントを開催するとともに、外部団体のイベントや企画等を図書館に呼び込み、その取組みやネットワークづくりを支援していく。

3 組 織

平成31年4月1日現在

(1) 組織・機構



(2) 職員配置

	館長	副館長	主幹	課長	専門員	主査	主任主査	係長	主任主事	主任主事	正職員計	嘱託 (自動車運転業務)	嘱託 (司書)	嘱託 (事務)	合計
館長	1										1				1
副館長		1									1				1
主幹			2								2				2
総務課				(1)		1		(1)	1		(2) 3	1		1	(2) 5
経営課				(1)	① 1	① 2	1	2			(1)② 6		⑱ 18		(1)⑳ 24
企画課				(1)	1	② 3	1		① 2		(1)③ 7			2	(1)③ 9
計	1	1	2	(3)	① 2	③ 6	2	(1) 3	① 3		(4)⑤ 20	1	⑱ 18	3	(4)㉓ 42

※()は兼務、○は司書有資格者で内数

4 山形県図書館協議会

(1) 図書館協議会

①図書館法第14条に基づき、公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

②任務

- ・図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる。
- ・図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

(2) 山形県図書館協議会

①山形県図書館条例第4条の規定により昭和27年に設置。

②委員の任命の基準

- ・学校教育・社会教育の関係者
- ・家庭教育の向上に関する活動を行うもの
- ・学識経験者

③委員の定数

7名

④委員の任期

2年間

⑤委員名簿（平成29年5月25日～令和元年5月24日）

(敬称略、五十音順)

氏 名	役 職	備 考
加 藤 美穂子	一般社団法人子どもの読書サポート アシード代表理事	
佐 藤 晶 子	元 月刊「SPOON」編集長	
佐 藤 奈津紀	絵本制作者	
新 藤 透	東北福祉大学大学准教授	
鈴 木 雅 史	山形新聞社論説委員	
松 田 道 雄	尚絅学院大学 エクステンションセンター特任教授	
秋 葉 典 子	山形県学校図書館連絡協議会副会長 (山形市立宮浦小学校校長)	

(役職は平成31年3月31日現在)

5 山形県立図書館の予算・決算

(単位:千円)

事業名	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和元年度 当初予算	令和元年度 主な事業
県立図書館協議会費	158	127	159	0	239	協議会開催経費
県立図書館運営費	54,275	86,810	57,649	59,216	66,763	
図書館管理運営費	42,028	76,723	36,431	38,223	44,673	光熱水費、消耗品、 通信費等
職員研修費	774	609	506	281	1,186	司書研修、大会旅 費等
コンピュータ運営費	11,473	9,478	20,712	20,712	20,904	図書館電算システム 機器賃借等
図書資料整備充実費	22,629	22,877	22,048	21,877	21,895	
図書資料充実費	21,088	20,566	20,093	19,791	19,310	一般図書、逐次刊 行物雑誌等
視聴覚資料整備費	1,541	1,799	1,955	2,086	2,585	VTR・CD・DVD等
貴重資料整備充実・図書館地 区別研修	0	512	0	0	0	
奉仕活動事業費	2,511	2,490	2,092	2,245	2,260	
図書館機能向上事業費	41,581	0	0	0	0	
県民が集い・学ぶ県立図書館整備 事業費	0	26,529	50,124	379,359	647,095	改修工事、備品等 購入、駐車場整備 等
合 計	121,154	138,833	132,072	462,697	738,252	

※以下の金額については本庁執行分

事業名	年度	金額	主な事業
県立図書館運営費	平成28年度(決算)	37,492	新図書館システム導入経費
	平成29年度(決算)	7,130	図書館システム運用保守業務委託費
	平成30年度(決算)	7,130	図書館システム運用保守業務委託費
	令和元年度(当初予算)	7,196	図書館システム運用保守業務委託費
図書館機能向上事業費	平成27年度(決算)	21,819	ICタグ導入経費等
県民が集い・学ぶ県立図書館整備事業費	平成28年度(決算)	17,639	大規模改修基本設計経費等
	平成29年度(決算)	40,831	大規模改修基本設計・実施設計等
	平成30年度(決算)	330,684	大規模改修工事費等
	令和元年度(当初予算)	565,136	大規模改修工事費等

6 施設の現状

- (1) 名称 山形県立図書館（「遊学館」）
- (2) 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上3階
- (3) 面積 敷地面積 9,769.62 m² 建築面積 4,819 m²
 図書館延床面積 6,085 m²（遊学館 11,726 m²）

【改修前】

階	区分	面積	階	区分	面積	
塔屋	機械室	167.4 m ²	1階	製本室	62.6 m ²	
	その他	57.3 m ²		経営課	155.6 m ²	
	計	224.7 m ²		車庫	64.6 m ²	
2階	館長室	43.9 m ²		ロッカー室	23.5 m ²	
	総務課・企画課	147.4 m ²		開架室	1,311.1 m ²	
	図書選択室	47.5 m ²		縣人文庫展示室	135.5 m ²	
	コンピュータ室	73.4 m ²		その他	162.8 m ²	
	スタッフルウンジ	35.4 m ²		計	1,915.7 m ²	
	研究室	54.8 m ²		地下1階	書庫	87.6 m ²
	閉架書庫	172.3 m ²			その他	22.6 m ²
	開架室	779.3 m ²	計		110.2 m ²	
	その他	121.1 m ²	地下2階	書庫	1,042.9 m ²	
	計	1,475.1 m ²		機械室	1,272.4 m ²	
		その他		44.3 m ²		
				計	2,359.6 m ²	
合計					6,085.3 m ²	

《参考》 総工費 約6.2億円（遊学館全体、工期：昭和63年～平成2年）

7 所 蔵 資 料 (平成31年3月末現在)

(1) 蔵書、視聴覚資料等

(単位：冊、点)

		平成29年度末蔵書数			平成30年度末蔵書数			増減数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総 記	24,412	26,418	50,830	25,038	27,063	52,101	626	645	1,271
1	哲学・宗教	28,642	2,436	31,078	29,088	2,479	31,567	446	43	489
2	歴史・地誌	61,588	4,839	66,427	56,880	5,018	61,898	-4,708	179	-4,529
3	社会科学	129,771	29,489	159,260	131,436	30,516	161,952	1,665	1,027	2,692
4	自然科学	41,008	8,210	49,218	41,643	8,390	50,033	635	180	815
5	技術・工学	47,875	12,875	60,750	48,670	13,211	61,881	795	336	1,131
6	産 業	40,295	10,326	50,621	40,757	10,579	51,336	462	253	715
7	芸 術	40,475	13,466	53,941	41,279	13,886	55,165	804	420	1,224
8	言 語	12,940	873	13,813	13,100	882	13,982	160	9	169
9	文 学	107,195	15,164	122,359	108,551	15,576	124,127	1,356	412	1,768
小 計		534,201	124,096	658,297	536,442	127,600	664,042	2,241	3,504	5,745
K	郷土資料	115,429	19,978	135,407	117,279	18,360	135,639	1,850	-1,618	232
Z	児 童	37,592	0	37,592	38,760	0	38,760	1,168	0	1,168
P	紙 芝 居	1,031	0	1,031	1,038	0	1,038	7	0	7
F	洋 図 書	4,565	0	4,565	4,578	0	4,578	13	0	13
蔵 書 冊 数		692,818	144,074	836,892	698,097	145,960	844,057	5,279	1,886	7,165

※増加数は登録数から除籍数を引いた数

※0～9門の逐次刊行物には児童雑誌も含む

DVD (ビデオディスク)	2,997	3,077	80
デ ィ ー	30	31	1
C D	3,563	3,608	45
ビデオテープ	4,419	4,419	0
カセットテープ	650	650	0
視聴覚他	29	36	7
視聴覚資料(点)	11,688	11,821	133

新聞合本(冊)	8,200	8,340	140
マイクロフィルム(点)	7,424	7,424	0

資料数合計	864,204	871,642	7,438
--------------	----------------	----------------	--------------

(2) データベース(オンライン資料)

データベース名	データベースの概要	検索・閲覧対象期間
山形新聞記事データベース	山形新聞に掲載された県内の記事の本文を検索・閲覧可能	1999年12月～
聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞記事等データベース)	朝日新聞東京本社発行の最終版の記事、沖縄以外の各都道府県の地方版記事の本文・縮小版を検索・閲覧可能。2005年11月からの記事は切り抜き・紙面イメージも見ることが可能 「AERA」(創刊号～)、「週刊朝日」のニュース面(2000年4月～)の記事も検索・閲覧可能	1945年～ 地方版のうち山形版は1997年1月～ 庄内版は2010年2月～
日経テレコン21(日経記事等データベース)	日本経済新聞(地方経済面含む1976年10月～)、日経産業新聞、日経流通新聞MJ及び日経金融新聞の記事の本文を検索・閲覧可能 他、日経速報ニュース、企業情報・企業決算、人事情報・人事記事、英字記事、マーケット概況・マクロ経済統計・地域経済統計等も検索・閲覧可能	日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞は1975年4月～ 日経金融新聞は1987年10月～
D1-Law.com(第一法規法情報総合データベース)	憲法、条約、法律、政令、勅令、府令・省令、規則、告示までの3万1千件余の法令、約22万件の判例本文とこれらを理解するための要旨・解説情報、幅広い収録対象誌から収集した約64万5千件の文献情報等の法情報を検索・閲覧可能	旧憲法下～現在
官報情報検索・閲覧サービス	官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)を検索・閲覧可能	1947年5月3日日本国憲法施行日～当日発行分
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約150万点の資料(平成31年1月時点)が検索・閲覧可能	昭和43年までに受け入れた図書 約57万点・明治期以降の貴重書等 約2万点・平成12年までに発行された雑誌(商業出版されていないもの) 約1万タイトル(約79万点)・平成3～12年度に送付を受けた論文(商業出版されていないもの) 約12万点・昭和55年以前の放送脚本の一部3千点
国立国会図書館歴史的音源配信提供サービス	歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約5万点の音源(平成29年1月時点)を検索・視聴可能	1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された5万点の音源
ルーラル電子図書館	農業系に特化したデータベース。一般社団法人農山漁村文化協会出版の図書(「農業技術大系」等)、雑誌(「現代農業」等)を検索・閲覧可能。また、農作業の技などを収録した動画も閲覧可能	各収録作品により異なる

※著作権等の理由から検索・閲覧できない記事有

8 レファレンス協同データベース（国会図書館）

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース

《URL: <http://crd.ndl.go.jp/reference/>》

・当館で登録したレファレンス事例件数 463件（2019年3月末現在）

【2018年度登録一覧】

整理番号	質問
1 山形県 -2016-0006	酒田市の徳尼公と三十六人衆の伝説について 奥州藤原氏の伝説関係について調べています。 「徳尼公と酒田三十六人衆、及び万寿」について詳しい伝説や逸話が伝わっていたら、その点に関する資料を教えてください。また、酒田市とその周辺に泉流寺の他に彼らのゆかりの伝承地などがあつたら知りたい。主に酒田や羽黒山近辺に伝わる伝説のようですが、山形県内の他の場所でも彼らの伝説があるようでしたらあわせて教えてください。
2 山形県 -2016-0008	明治14年の明治天皇の山形県御巡幸の日付について 明治14年9月20日は秋田県湯沢市湯沢に宿泊、9月21日湯沢市院内銀山を見学・・・この日はどこの地に宿泊したか不明 ①明治天皇が山形県に入られた日は、9月21日か9月22日のどちらかを知りたい。 ②山形県の最初の宿泊先(場所)を特定したい。 湯沢市の糸井茂助翁の石碑に、明治9月22日朝に明治天皇の側近に会うと刻されている。この碑は昭和期に建立されたもの。
3 山形県 -2018-0001	山形県米沢市にある「御成山」の名前の由来を知りたい。
4 山形県 -2018-0002	北山形の奥羽線沿いに鳥海月山両所宮がありますが、何年にできたのか、なぜ両所宮の銘々なのかを知りたい。
5 山形県 -2018-0003	スポーツ県民歌について調べたい。
6 山形県 -2018-0004	①大正期「最上義光候市祭」に関して、大正何年何月何日から何日の開催ですか。 ②貴館所蔵文献で本件について述べた比較的詳しい本や新聞について紹介いただきたい。 ・当時の資料(戦前) ・戦後の地域史文献
7 山形県 -2018-0005	山形県庄内地方の「5俵かつぎ」について、昭和の初めごろの雑誌において、実際に女丁持ちをしていてこの5俵担ぎを行って写真撮影された女性がインタビューに答えており、「撮影のために行っただけで、普段はやらない。上からどんどん積まれて一歩も動けなかった」と答えていたという話を聞いたのですが、出典がわかりません。なんらか探し出す方法はないでしょうか。
8 山形県 -2018-0006	新聞原紙のバックナンバーを綴る表紙に「紙型(しけい、活版印刷で活字を型どりする厚紙)」が使われているので、その資料調査を行いたいと考えています。以下のことについて、お知らせください。 1) 新聞印刷における「紙型」についての一般的な解説 2) 山形新聞社でこの紙型はどのように使われていたのか
9 山形県 -2018-0007	明治時代に活躍した山形県出身の評論家・高山樗牛博士の生い立ちを調べているのですが、義父の職業について、「義父の高山久平は山形、酒田、福島(県庁)、東京(警視庁)などに勤務した」ことまではわかっています。山形や酒田では具体的にどこに勤務していたのか。貴館に所蔵されている、書籍・資料で、ご教示願えれば、助かります。

9 パスファインダー

調べたいテーマに関連する資料・情報の探し方や入手方法などを紹介するため、平成23年度から「パスファインダー」の作成に取り組んできている。

郷土関係の項目を中心として様々なテーマについてパスファインダーを作成し、館内に配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テ ー マ
1	郷土の人物について調べる
2	山形県の郷土料理について調べる
3	立石寺（山寺）について調べる
4	最上川について調べる
5	山形県の神社・寺院について調べる
6	単位について調べる
7	紅花について調べる
8	出羽三山の修験道について調べる
9	最上義光について調べる
10	山形の地震について調べる
11	山形県の地図（種類・発行年）の所蔵状況について調べる
12	節電について調べる
13	山形の方言について調べる
14	山形の温泉について調べる
15	山形の伝統工芸について調べる
16	初市・植木市について調べる
17	芭蕉がたどった山形路について調べる
18	啓翁桜について調べる
19	山形の伝統芸能について調べる
20	山形の民話・昔話について調べる
21	山形の祭りについて調べる
22	サクランボについて調べる
23	山形の鉄道について調べる
24	樹氷について調べる
25	山形のそばについて調べる
26	山形の山菜・きのこについて調べる
27	山形のお酒について調べる
28	医療情報について調べる
29	企業情報について調べる
30	自由研究・自由工作について調べる
31	山形のお城について調べる
32	認知症（介護と予防）について調べる
33	花笠まつりと花笠踊りについて調べる
34	芋煮会について調べる
35	山形の漬物について調べる
36	山形の伝統（伝承）野菜について調べる
37	たばこと健康について調べる
38	天童の将棋駒について調べる
39	新庄まつりについて調べる
40	発達障がいについて調べる
41	山形の（歴史）街道について調べる
42	山形の山について調べる

10 絵本の本棚

平成20年度、山形県子ども読書活動推進計画にもとづく取組みの一つとして、子どもたちに読み聞かせをしている方々に向けて、絵本選びの参考として活用していただくために、テーマ別の絵本リスト「絵本の本棚」の作成を開始した。

対象者は幼児から小学生を目安として、当館の児童向け展示のテーマに合わせてリストを作成している。児童書コーナー等に配置するほか、ホームページで公開するとともに、県内市町村図書館にも送付している。

No.	テーマ	No.	テーマ
1	かがくの本	17	はるの絵本
2	大型絵本	18	雨の絵本
3	乗り物の本	19	マツリとカミサマ
4	かいじゅう、おばけの絵本	20	山の絵本
5	おいしい秋	21	海の絵本
6	クリスマス	22	妖怪の絵本
7	むかしばなしの絵本	23	星と月
8	おとうさん	24	かみしばい 春夏秋冬
9	おかあさん	25	からだのふしぎ
10	おじいちゃん、おばあちゃん	26	おやすみなさいの絵本
11	赤ちゃん絵本	27	ことばのリズムを楽しむ絵本
12	きょうだい	28	虫・ムシ・むしの本
13	ともだち	29	おたんじょうび おめでとう
14	なつの絵本	30	ふしぎなおはなし
15	あきの絵本	31	おてがみの絵本
16	ふゆの絵本		

11 ティーンズコーナー・GATE★BOOK(ゲートブック)

平成22年度こどもの読書週間企画展において、10代の若者を対象にした「ヤングアダルトおすすめ本」を展示紹介したが、終了後も引き続き通年展示とし、図書館職員からのおすすめ本等を掲載したリストを作成し配置していた。

平成24年1月からは、展示コーナーの名称を「ティーンズコーナー」に変更し、ヤングアダルト向けの新着本を紹介するリスト「GATE★BOOK」を作成し常置してきている。「GATE★BOOK」は、当館利用者からイラストを募集し表紙にしたり、レファレンスを紹介するなど様々な工夫をしながら四半期に1回、発行してきている。

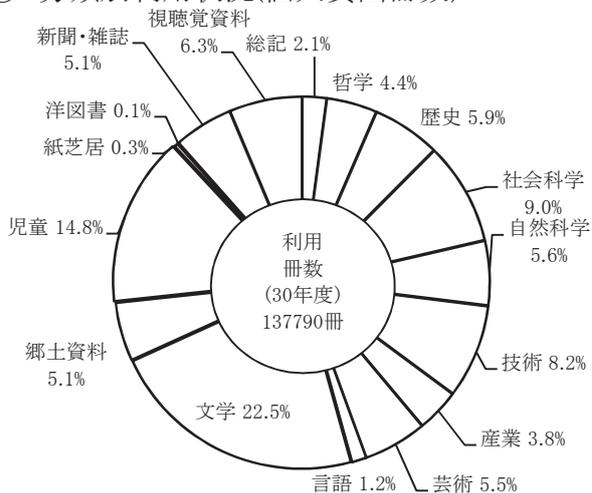
12 利用の状況

(1) 図書館利用概況

① 入館者・登録者数・個人貸出冊数

区分	開館日数 (日)	入館者数(人)		登録者数(人)		個人貸出冊数(冊)	
		総数	1日平均	新規	累計	総数	1日平均
26年度	285	192,779	676	2,141	100,589	212,759	747
27年度	286	200,407	701	2,552	103,141	216,686	758
28年度	283	202,743	716	2,360	105,501	213,732	755
29年度	288	198,212	688	2,411	107,912	214,154	744
30年度	239	126,975	531	1,631	109,543	137,790	576

② 分類別利用状況(個人貸出冊数)



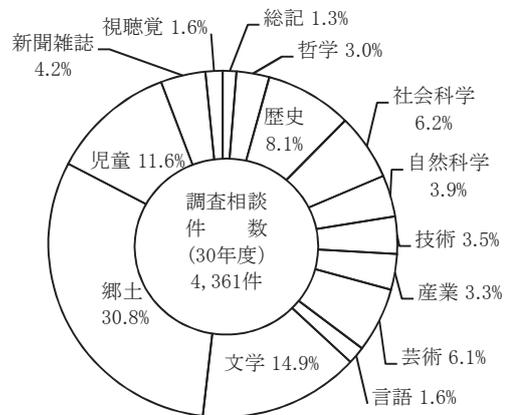
③ 相互貸借冊数

区分	相互貸借冊数	
	貸出	借受
26年度	8,279	780
27年度	8,250	661
28年度	8,865	756
29年度	8,291	709
30年度	8,192	533

⑤ 分類別調査相談状況

④ 調査相談件数

区分	調査相談(件)		
	郷土資料	一般資料	計
26年度	1,154	5,240	6,394
27年度	1,642	5,630	7,272
28年度	1,899	5,853	7,752
29年度	2,774	6,417	9,191
30年度	1,344	3,017	4,361



(2) 図書資料利用状況の推移

	(単位:冊、%)						(単位:冊、%)								
	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比
0 総記	3,865	1.82	113.3	3,905	1.80	101.0	3,663	1.71	93.8	3,569	1.67	97.4	2,880	2.09	80.7
1 哲学・宗教	7,468	3.51	104.6	8,266	3.81	110.7	7,879	3.69	95.3	8,018	3.74	101.8	6,044	4.39	75.4
2 歴史・地誌	11,005	5.17	106.9	11,287	5.21	102.6	11,909	5.57	105.5	11,430	5.34	96.0	8,161	5.92	71.4
3 社会科学	21,193	9.96	106.1	22,539	10.40	106.4	20,570	9.62	91.3	19,307	9.02	93.9	12,337	8.95	63.9
4 自然科学	12,983	6.10	115.8	12,940	5.97	99.7	12,739	5.96	98.4	13,834	6.46	108.6	7,753	5.63	56.0
5 技術・工学	18,400	8.65	115.2	19,738	9.11	107.3	18,956	8.87	96.0	17,198	8.03	90.7	11,313	8.21	65.8
6 産業	7,586	3.57	114.7	7,313	3.37	96.4	6,947	3.25	95.0	7,357	3.44	105.9	5,169	3.75	70.3
7 芸術	12,125	5.70	119.6	11,821	5.46	97.5	12,677	5.93	107.2	11,784	5.50	93.0	7,606	5.52	64.5
8 言語	2,641	1.24	110.6	2,776	1.28	105.1	2,969	1.39	107.0	2,627	1.23	88.5	1,722	1.25	65.6
9 文学	44,970	21.14	114.1	46,610	21.51	103.6	44,236	20.70	94.9	45,913	21.44	103.8	30,961	22.47	67.4
小計	142,236	66.85	112.4	147,195	67.93	103.5	142,545	66.69	96.8	141,037	65.86	98.9	93,946	68.18	66.6
K 郷土資料	9,632	4.53	131.8	8,753	4.04	90.9	9,225	4.32	105.4	9,232	4.31	100.1	7,042	5.11	76.3
Z 児童	29,953	14.08	136.8	31,165	14.38	104.0	33,409	15.63	107.2	35,272	16.47	105.6	20,406	14.81	57.9
P 紙芝居	646	0.30	113.9	518	0.24	80.2	504	0.24	97.3	528	0.25	104.8	431	0.31	81.6
F 洋図書	501	0.24	131.2	400	0.18	79.8	423	0.20	105.8	430	0.20	101.7	167	0.12	38.8
新聞・雑誌	9,197	4.32	121.8	9,522	4.39	103.5	9,756	4.56	102.5	10,720	5.01	109.9	7,095	5.15	66.2
視聴覚資料	20,594	9.68	90.5	19,133	8.83	92.9	17,870	8.36	93.4	16,935	7.91	94.8	8,703	6.32	51.4
小計	70,523	33.15	116.7	69,491	32.07	98.5	71,187	33.31	102.4	73,117	34.14	102.7	43,844	31.82	60.0
貸出冊数計	212,759	100.00	113.8	216,686	100.00	101.8	213,732	100.00	98.6	214,154	100.00	100.2	137,790	100.00	64.3

(3) 図書資料貸出利用の年齢構成

区 分	利 用 者 数 (人)					貸 出 資 料 数 (冊)				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
26年度	13,321	29,482	20,381	3,650	66,834	42,900	96,898	58,967	13,994	212,759
構成比	19.93	44.11	30.49	5.46	100.00	20.16	45.54	27.72	6.58	100.00
27年度	12,599	28,836	21,487	3,179	66,101	41,837	97,667	63,987	13,195	216,686
構成比	19.06	43.62	32.51	4.81	100.00	19.31	45.07	29.53	6.09	100.00
28年度	11,533	27,104	22,596	3,441	64,674	37,921	91,944	66,182	17,685	213,732
構成比	17.83	41.91	34.94	5.32	100.00	17.74	43.02	30.96	8.27	100.00
29年度	12,250	27,071	23,842	3,323	66,486	40,628	88,190	68,116	17,220	214,154
構成比	18.42	40.72	35.86	5.00	100.00	18.97	41.18	31.81	8.04	100.00
30年度	6,681	18,131	16,537	2,183	43,532	22,323	57,854	47,538	10,075	137,790
構成比	15.35	41.65	37.99	5.01	100.00	16.20	41.99	34.50	7.31	100.00

(4) 図書資料予約受付数

区 分	予約受付冊数	うちインターネット予約	
		予約数	構成比
26年度	17,771	13,729	77.3%
27年度	18,402	14,221	77.3%
28年度	17,612	13,584	77.1%
29年度	16,937	12,892	76.1%
30年度	16,675	13,806	82.8%

(5) 県立図書館から市町村立図書館(室)への貸出数推移

(相互貸借及び一括特別貸出)

(単位:冊、%)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	冊数	構成比								
山形市	157	1.50	126	1.11	97	0.81	119	0.96	127	1.07
寒河江市	158	1.51	83	0.73	77	0.65	102	0.82	51	0.43
上山市	83	0.79	83	0.73	109	0.91	94	0.76	95	0.80
村山市	64	0.61	44	0.39	106	0.89	158	1.28	72	0.61
天童市	110	1.05	84	0.74	102	0.85	101	0.82	58	0.49
東根市	82	0.78	56	0.49	38	0.32	43	0.35	62	0.52
尾花沢市	99	0.95	62	0.55	82	0.69	76	0.61	57	0.48
山辺町	757	7.24	904	7.97	980	8.21	1,098	8.87	937	7.91
中山町	249	2.38	144	1.27	14	0.12	32	0.26	24	0.20
河北町	70	0.67	67	0.59	87	0.73	35	0.28	29	0.24
西川町	338	3.23	691	6.09	561	4.70	871	7.03	691	5.83
朝日町	67	0.64	156	1.37	74	0.62	90	0.73	54	0.46
大江町	91	0.87	64	0.56	110	0.92	101	0.82	82	0.69
大石田町	112	1.07	144	1.27	136	1.14	46	0.37	92	0.78
村山地域計	2,437	23.31	2,708	23.86	2,573	21.56	2,966	23.95	2,431	20.51
新庄市	269	2.57	215	1.89	207	1.73	168	1.36	189	1.59
金山町	53	0.51	14	0.12	16	0.13	1	0.01	0	0.00
最上町	3,457	33.07	3,573	31.49	3,479	29.15	3,574	28.86	4,538	38.29
舟形町	85	0.81	73	0.64	108	0.90	67	0.54	60	0.51
真室川町	808	7.73	937	8.26	910	7.62	1,059	8.55	879	7.42
大蔵村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鮭川村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
戸沢村	0	0.00	123	1.08	91	0.76	360	2.91	437	3.69
最上地域計	4,672	44.69	4,935	43.49	4,811	40.31	5,229	42.22	6,103	51.49
米沢市	273	2.61	232	2.04	133	1.11	229	1.85	148	1.25
長井市	272	2.60	238	2.10	345	2.89	346	2.79	268	2.26
南陽市	68	0.65	138	1.22	90	0.75	131	1.06	134	1.13
高島町	35	0.33	38	0.33	48	0.40	29	0.23	25	0.21
川西町	37	0.35	44	0.39	23	0.19	28	0.23	13	0.11
小国町	126	1.21	250	2.20	629	5.27	398	3.21	366	3.09
白鷹町	453	4.33	232	2.04	232	1.94	294	2.37	175	1.48
飯豊町	190	1.82	384	3.38	568	4.76	230	1.86	208	1.75
置賜地域計	1,454	13.91	1,556	13.71	2,068	17.33	1,685	13.61	1,337	11.28
鶴岡市	177	1.69	180	1.59	238	1.99	221	1.78	269	2.27
酒田市	283	2.71	312	2.75	183	1.53	242	1.95	211	1.78
庄内町	226	2.16	148	1.30	124	1.04	111	0.90	99	0.84
三川町	142	1.36	80	0.70	524	4.39	336	2.71	88	0.74
遊佐町	48	0.46	48	0.42	69	0.58	61	0.49	63	0.53
庄内地域計	876	8.38	768	6.77	1,138	9.53	971	7.84	730	6.16
県内計	9,439	90.29	9,967	87.83	10,590	88.73	10,851	87.62	10,601	89.44
その他	154	1.47	471	4.15	443	3.71	715	5.77	617	5.21
県外	862	8.24	910	8.02	902	7.56	818	6.61	635	5.36
合計	10,455	100.00	11,348	100.00	11,935	100.00	12,384	100.00	11,853	100.00

(6) 調査相談件数の内訳

① 部門別件数

(単位:件)

区分	K 郷土	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	Z 児童	S 新・雑	V 視聴覚	その他	計
26年度	1,154	73	266	533	615	343	268	187	369	118	1,329	644	336	126	33	6,394
27年度	1,642	75	322	563	775	358	297	168	368	101	1,326	837	281	133	26	7,272
28年度	1,899	107	282	565	666	329	271	183	401	191	1,268	1,069	349	144	28	7,752
29年度	2,774	101	346	624	694	368	274	183	462	213	1,414	1,090	553	79	16	9,191
30年度	1,344	44	132	352	271	169	152	145	264	71	650	505	181	70	11	4,361

② 調査内容別件数

(単位:件)

区分	所蔵	書誌	事実	文献	複写	案内	計
26年度	5,676	9	131	275	222	81	6,394
27年度	6,600	5	141	216	257	53	7,272
28年度	7,007	15	160	157	353	60	7,752
29年度	8,478	7	214	264	186	42	9,191
30年度	3,780	11	120	200	199	51	4,361

13 山形県立図書館 平成30年度事業実績

「県立図書館の将来のあり方について」を踏まえ、次のとおり取組みを行った。

(1) 県内図書館の中核的役割の発揮

①郷土資料等資料整備の推進

- ・郷土資料等の出版情報を幅広く収集し、資料収集強化
- ・市町村との役割分担を踏まえた蔵書構築

②公立図書館相互貸借、一括特別貸出及びインターネット予約の推進

- ・相互貸借による貸出 8,192 点（前年度 8,291 点）
- ・インターネット予約 13,806 点（前年度 12,892 点）
- ・一括特別貸出（公立図書館、学校図書館）3,661 点（前年度 4,093 点）

③公立図書館、学校図書館の機能向上支援及び連携推進

- ・専門的な調査相談の助言、支援
- ・相互貸借、一括特別貸出を通じた公立図書館等支援
- ・「山形県図書館大賞 2018」実施
- ・東北文教大学短期大学部フィールドワーク受入
- ・県立図書館移動図書館（小国町）実施

④公立図書館職員の研修支援及び職員の資質向上に向けた研究充実

- ・山形県図書館職員専門研修実施（計 3 回）
障がい者（児）サービス編、経営編、絵本編

⑤調査相談（レファレンス・サービス）の充実

- ・市町村との役割分担を踏まえた、専門性の高い調査相談の充実
- ・市町村への調査相談事例提供
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」を通じた専門性の高い調査相談事例の紹介

当館登録件数 453 件（H31.3.31 現在）

(2) 県民ニーズの実現のための積極的支援

①地域・地域政策の課題解決や地域活性化支援に資する資料整備、企画展開催

- ・ビジネス支援図書館展示を通年展示
- ・「山形の「食」の魅力」をテーマとした展示
- ・行政機関との連携展示
 - やまがた百名山へ行こう！ みどり自然課
 - 「山寺と紅花」～山寺が支えた紅花文化～ 文化財・生涯学習課
 - 「第 58 回下水道の日」展示 下水道課
 - 「山形県名誉県民・山形県県民栄誉賞」展示 秘書課
 - 「税を考える週間」展示 山形税務署
 - 「自殺予防強化月間」展示 村山保健所
- ・「3. 11 を忘れない…。」展示

②公開講座等、知的情報の発信及び読育の推進

- ・本の森講座「山形城絵図を読む」～最上氏時代から保科氏時代へ～開催
- ・「絵本で世界一周！」企画展、「絵本とうたの会」実施
- ・子育て応援団すこやか2018に「移動図書館」出店
- ・山形新聞の県内出版物2018を紹介する特集記事執筆協力
- ・読書感想文書き方アドバイスが山形新聞記事掲載

③インターネット及び図書館だよりを通じた積極的な情報発信による認知度向上

- ・ホームページ、Facebookを通じた情報発信
- ・図書館だより「本の森通信」発行

④ボランティア受入れ等、図書館運営への県民参加の推進

- ・ボランティアが返却資料の配架、書棚整理等に参加

(3) 県民本位の利用しやすい図書館づくり

①障害者、高齢者等、幅広い県民層へのサービス向上及び周知

- ・大活字本、マルチメディア DAISY (デイジー) 図書の整備
- ・視聴覚障害者用読書補助具、コミュニケーションボードをカウンターに配置
- ・書見台を新聞・ブラウジングコーナーに配置
- ・ベビーカー、カートを配置

②企画展示、公開講座開催等、親しみやすく、発見のある図書館づくりの推進

- ・明治150年企画展「近代化する山形の姿&近代日本の礎を築いた山形縣人」
- ・「明治150年我が祖先を語る」鼎談
- ・「明治維新150周年」(西郷南洲関連) 展示
- ・「山形小説家(ライター) 講座」講師著作等(月替わり)
- ・「楽器の世界、音楽の世界を楽しむ」企画展示
- ・「敬老の日 読書のすすめ」展示
- ・「平成を振り返って」展示
- ・「ドナルド・キーン氏追悼展示」

③県民活動や地域の活性化につながる企画展示等実施

- ・児童向け「なつやすみ特集」企画展
- ・県内出版物展実施、縣人文庫22人相関図等展示
- ・ふるさと知事ネットワーク連携企画「ふるさと文学交流展」実施
- ・「受験頑張れ！」応援展示
- ・「美術館へ行こう」展示
- ・大河ドラマ「いだてん」関連展示
- ・「書評に載った郷土資料」展示

14 利用の案内

開館時間

午前9時から午後7時まで

休館日

毎週月曜日
第3日曜日
年末年始（12月29日～1月3日）
特別整理期間

貸出

- 借りる時は、利用カードが必要です。
- 図書の貸出は、10冊まで3週間以内です。
- 視聴覚資料(DVD・ビデオ・CDなど)の貸出は、3点まで1週間以内です。
- 図書・視聴覚資料の合計で10点以内となります。
- 「参考書」「禁帯出」のラベル表示のある資料及び貴重資料は、館内でのみご覧ください。
- インターネット予約パスワードをお持ちの方は県立図書館HPから予約することができます。
また、予約された資料は、県内のお近くの図書館(一部の図書館を除く)で受け取ることができます。

交通案内

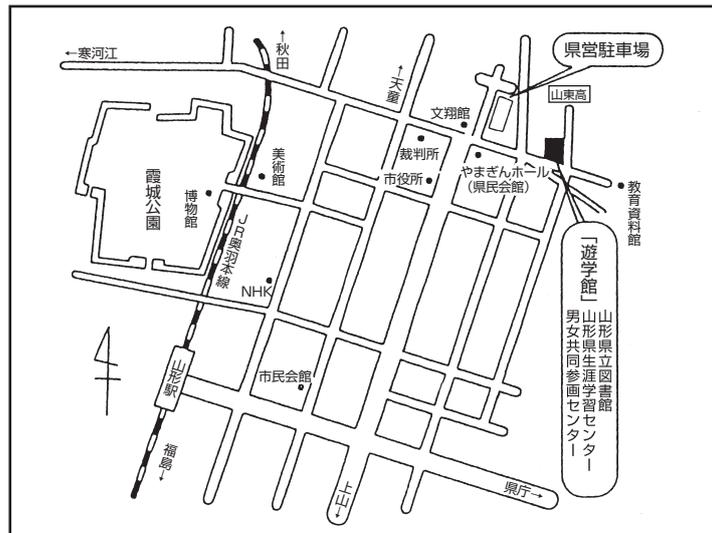
バス利用の場合

- ① 山形駅前から千歳公園待合所行または東北中央病院（沼の辺）行で遊学館前下車（徒歩1分）
- ② 山形市役所経由路線で市役所前下車（徒歩6分）

タクシー利用の場合
駐車施設

山形駅前から約10分
車でおいでの方は、県営駐車場をご利用ください。
(利用時間に応じて最大2時間まで無料)

位置図



15 市町村立図書館の設置状況

(平成31年4月1日現在)

- ⊙ 図書館設置市町
- 公民館図書室等
- ⊕ 自動車文庫運営市町



図書館設置市町村

	市町村数	図書館設置市町村
市	13	13
町	19	11
村	3	—
計	35	24

図書館図書室設置市町村の推移

年 度	図書館	増加館	図書室	新築館
昭和57 (1982)	19		25	酒田市立
58 (1983)	20	高 島	24	天童市立
60 (1985)	20		24	鶴岡市立
61 (1986)	21	櫛 引	23	櫛引町立
63 (1988)	21		23	新庄市立
平成 2 (1990)	22	遊 佐	22	山形県立
3 (1991)	22		22	寒河江市立
4 (1992)	22		22	遊佐町立
6 (1994)	22		22	川西町立
7 (1995)	22		22	河北町立 上山市立
8 (1996)	22		22	尾花沢市民
11 (1999)	23	東 根	21	東根さくらんぼ
12 (2000)	23		21	朝日町立 南陽市立
17 (2005)	21		14	
24 (2012)	22	中 山	13	中山町立
28 (2016)	23	大 江	12	大江町立
29 (2017)	24	大石田	11	大石田町立

※平成 17 年度は市町村合併による減少である

16 縣人文庫展示者のプロフィール

政治経済の分野で活躍

ひらた とうすけ
平田 東助 米沢市 1849年～1925年 政治家、産業組合運動の指導者、内大臣、伯爵

ドイツで学んだ信用組合論を基に、農民の経済自立、自主経営の組織化をめざして、産業組合制度を精力的に推進した。

いけだ せいひん
池田 成彬 米沢市 1867年～1950年 銀行家、三井財閥の指導者

積極的な反面、合理的で冷静な判断で三井銀行の発展に活躍。日本銀行総裁、蔵相兼商工相、枢密顧問官を歴任。

ゆうき とよたろう
結城 豊太郎 南陽市 1877年～1951年 銀行家、政治家

安田財閥の指導者、日本興行銀行総裁として昭和初期の不況対策に、また、日本銀行総裁としては戦時金融に指導力を発揮、活躍した。

海外で活躍

あだち みねいちろう
安達 峰一郎 山辺町 1869年～1934年 外交官、国際法学者、常設国際司法裁判所長

第一次大戦後の複雑な国際情勢の中で、少数民族の権利擁護のために尽くした努力は、各国から高く評価されている。

芸術の分野で活躍

しんかい たけたろう
新海 竹太郎 山形市 1868年～1927年 彫刻家

従来洋風彫刻がイタリア系であったのに対して、北欧的な格調を持つ作品が注目された。「ゆあみ」はその代表作。

こまつ ひとし
小松 均 大石田町 1902年～1989年 日本画家、文化功労者

最上川の全ルートを描くのを念願とした壮大な連作「最上川シリーズ」で芸術選奨文部大臣賞受賞、「雪の最上川」は院展内閣総理大臣賞受賞。

文学の分野で活躍

たかやま ちよぎゆう
高山 樗牛 鶴岡市 1871年～1902年 文学者、評論家

「滝口入道」は若い読者から熱狂的な支持を得、「帝国文学」「太陽」の文芸欄での発言は、青年層に大きな影響を与えた。

さいとう もきち
斎藤 茂吉 上山市 1882年～1953年 歌人、医師、文化勲章受賞、文化功労者

第一歌集「赤光」で一躍有名となり、「短歌写生の説」を实践、「実相観入」を提唱。「アララギ」主宰。歌集のほか、評論など多くの分野で活躍した。

はまだ ひろすけ
浜田 広介 高島町 1893年～1973年 童話作家

近代日本における幼年童話の創始者。作品は一般に「ひろすけ童話」と愛称され、年少児のための童話に新境地を開いたものと評価されている。

学術の分野で活躍

いとう ちゅうた
伊東 忠太 米沢市 1867年～1954年 建築史家、建築家、文化功労者、文化勲章受章

日本で初めて建築を一つの科学となし、日本の建築芸術の発展経路を明らかにした。設計した作品は、平安神宮、築地本願寺等。

くさかべ しろうた
日下部 四郎太 山形市 1875年～1924年 物理学者

「岩石の力学的研究」で、わが国の物理学では2回目、東北大学では第1号の帝国学士院賞受賞。

おりしも よしのぶ
折下 吉延 新庄市 1881年～1966年 造園家

檀原神宮林苑、明治神宮林苑の造成、関東大震災後の東京・横浜の都市計画に、戦後は国立公園や自然公園の保護等に尽力した。

あべ じろう
阿部 次郎 酒田市 1883年～1959年 哲学者、美学者、評論家

「三太郎の日記」によって多くの読者をひきつけ、人格主義を鼓吹して大正時代の思想に大きな影響を与えた。

おぐら きんのすけ
小倉 金之助 酒田市 1885年～1962年 数学者、数学教育学者

数学史、数学教育、科学論等に優れた論著が多い。とくに「数学教育の根本問題」は、数学界に大きな刺戟を与えた。

たかはし さとみ
高橋 里美 米沢市 1886年～1964年 哲学者、文化功労者

「包越の論理」にもとづく独自の観念論的哲学体系を組み立てた。純粹理論としての哲学で「最も哲学的な哲学」といわれる。

ほんま ひさお
本間 久雄 米沢市 1886年～1981年 文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家

外国文学のみならず美術や演劇にわたる広範な知識を背景に、日本近代文学研究に新たに開拓した業績が多い。

ひらつか ひできち
平塚 英吉 新庄市 1888年～1984年 農芸化学者、文化功労者

絹糸生成や蚕栄養に関する基礎的な研究等、蚕糸学に関する研究に大きな功績を残した。

にいげき りょうぞう
新関 良三 河北町 1889年～1979年 演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者

「ギリシャ・ローマ演劇史」は、もっとも優れた西欧古代劇の研究であると同時に、日本人による外国文学研究の最高峰とされている。

おおくま のぶゆき
大熊 信行 米沢市 1893年～1977年 経済学者、評論家、歌人

「生命再生産の理論」「資源配分の理論」等、人間中心の経済学を構想した経済学上の業績の他に、歌人としての業績も多い。

さがら もりお
相良 守峯 鶴岡市 1895年～1989年 ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威、文化功労者、文化勲章受章

独和、和独事典の編集で著名。「ドイツ中世叙事詩研究」等、日本における中世ドイツ文学研究の基礎をつくった。

わがつま さかえ
我妻 栄 米沢市 1897年～1973年 法律学者、文化功労者、文化勲章受章

法解釈に新分野をひらき、独自の民法体系をつくりあげた「我妻民法」で知られる日本民法学界の最高峰。

ほりごめ ようぞう
堀米 庸三 河北町 1913年～1975年 西洋史学者

戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人。その門下からわが国の西洋史学研究に多くの後継者が輩出した。

17 山形県立図書館利用規程

(平成 26 年 1 月 21 日 文生第 1378 号 県教育長承認)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、教育機関の組織及び運営に関する規則（昭和 41 年 4 月 県教育委員会規則 第 2 号）第 13 号の規定に基づき、山形県立図書館（以下「本館」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用カード)

第 2 条 本館の資料を利用する場合には、開架資料を館内で利用する場合を除き、利用カードによって行わなければならない。

- 2 前項に定める利用カードの交付を受けることのできる者は、県内に住所を有する者又は県内に通勤若しくは通学する者とする。
- 3 利用カードの交付を受けようとする者は、住所等を証明する書類を提示のうえ、利用カード申込書（別記様式第 1 号）を館長に提出し、利用者の登録をしなければならない。
- 4 館長は、利用者が最後に利用してから 5 年間利用しない場合は、利用者の登録を取消することができる。
- 5 利用カードの交付を受けた者は、申込書の記載事項に変更が生じたときは、利用カード申込書により速やかにその旨を館長に届け出なければならない。
- 6 利用カードを亡失した者は、その旨を速やかに館長に申し出なければならない。
- 7 利用カードを亡失し、又は毀損した者は、利用カード申込書を提出することにより、利用カードの再交付を受けることができる。
- 8 利用カードは、他人に貸与してはならない。
- 9 第 2 条第 5 項、第 6 項及び第 8 項に違反する行為によって生じた本館の損害については、利用カードの交付を受けた者が負担しなければならない。

(館外利用の方法)

第 3 条 本館以外の場所（以下「館外」という。）で資料を利用しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示し、館外貸出の手続きをとらなければならない。

- 2 利用者は自動貸出機を使用して、自ら館外貸出手続きをすることができる。
- 3 利用者が利用カードを持参しなかった場合は、仮貸出票（別記様式第 2 号）を係員に提出することにより、資料の館外貸出を受けることができる。

(館外利用点数)

第 4 条 館外で利用できる資料の点数は、未返却資料を含め 10 点以内とする。

- 2 館外で利用できる視聴覚資料は 3 点以内とし、前項に定める利用点数に含むものとする。
- 3 館長は、必要と認めたときは、貸出点数を制限することができる。

(館外利用期間)

第 5 条 館外で資料を利用できる期間は、貸出を受けた翌日から 3 週間以内とする。

- 2 視聴覚資料の館外での利用期間は、貸出を受けた翌日から 1 週間以内とする。
- 3 館長は、必要と認めたときは、前 2 項の期間内であっても資料の返却を求めることができる。

(館外利用の制限)

第6条 次の各号に掲げる資料は、館内でのみ利用することができる。

- (1) 官報、山形県公報及び新聞
- (2) 逐次刊行物の最新号
- (3) 郷土資料(ただし、2冊以上の複本のあるものを除く。)
- (4) 参考図書として指定したもの
- (5) マイクロフィルム資料
- (6) その他館長の指定したもの

(館内利用の方法)

第7条 本館の資料は、館内の所定の場所において自由に利用することができる。

- 2 視聴覚資料を館内で視聴しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示して借り受け、所定の場所で利用しなければならない。ただし、マイクロフィルムを利用する場合は、利用申込票(別記様式第3号)を係員に提出しなければならない。
- 3 視聴覚資料を館内で視聴できる点数は、一人一日2点以内とする。
- 4 CD-ROM 媒体又はインターネット上の各種データベースを館内で利用しようとする者は、利用申込票を係員に提出し、所定の場所で利用しなければならない。
- 5 閉架資料を利用しようとする者は、貸出請求票又は資料請求票(別記様式第4号)を利用カードとともに係員に提出しなければならない。

(返納)

第8条 利用者は、館外貸出を受けた資料を所定の貸出期間内に係員に返納しなければならない。

- 2 開館時間外にあつては、視聴覚資料及び大型本を除く資料はブックポストに返却することができる。
- 3 利用者は、館内での資料の利用が終つたときは、閉架資料は利用者自らが閉架書架の配架場所に返却し、閉架資料及び視聴覚資料はそれぞれ係員に返納しなければならない。

(督促及び貸出停止)

第9条 館長は、貸出期間を過ぎても資料を返却しない利用者に対し、督促を行うことができる。

- 2 館長は、前項の督促を引き続き3回以上受けた利用者に対し、資料が返却されるまでの間、新規の貸出を停止することができる。

(弁償)

第10条 利用者は、資料を亡失若しくは汚損したときは、速やかに資料紛失毀損届(別記様式第5号)を館長に提出するとともに、その損害を弁償しなければならない。

- 2 前項に規定する資料の損害は、現品又は相当の金額で弁償するものとする。ただし、現品での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償することができる。
- 3 館長は、督促をしても返却に応じない第9条第2項の利用者に対して、前2項により弁償を求めることができる。

(インターネット予約貸出)

第11条 中学生以上で、電子メールアドレスを保有している者は、インターネット予約貸出を受けることができる。

- 2 インターネット予約貸出を受ける者は、第2条に定める利用カードの交付とインターネット予約貸出用パスワードの発行を受けなければならない。

- 3 前項の規定により登録した者は、本館ホームページの「インターネット予約貸出申込画面」から申込みことができる。
- 4 前項の規定により申込みをした資料を受領する者は、本館並びに本館が指定する公共図書館及び公民館図書室等（以下「受取館」という。）で資料を受け取ることができる。
- 5 前項の規定により受け取った資料を返却する者は、その資料を受け取った受取館へ返却しなければならない。
- 6 貸出期間は、貸出日の翌日から30日以内とする。ただし、本館で受け取る場合は貸出日の翌日から3週間以内とする。
- 7 貸出できる資料は、図書及び逐次刊行物で第6条で規定された資料以外のものとする。
（郵送による館外貸出）

第12条 利用カードの交付を受けた者は、郵送等による資料の貸出を受けることができる。

- 2 前項の館外貸出のために要する費用は、利用者の負担とする。
（特別貸出）

第13条 館長は、公用、学術研究、その他特別の事情があると認めるときは、第2条第1項、第4条、第5条、及び第6条の規定にかかわらず資料を貸出することができる。

- 2 前項の貸出を受けようとする利用者は、特別貸出借用書（別記様式第6号）を館長に提出しなければならない。
（図書館間貸出）

第14条 次の各号に掲げる施設は、資料の貸出を受けることができる。

- (1) 公共図書館、公民館図書室、学校図書館及び大学図書館
 - (2) その他館長が適当と認める施設
- 2 前項の場合において、館長は必要に応じて貸出点数を制限することができる。
 - 3 貸出期間は、貸出日から1ヵ月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、その期間を変更することができる。
 - 4 前3項の規定にかかわらず、視聴覚資料の貸出対象施設は、県内の施設及び社会教育団体等に限るものとし、貸出点数及び貸出期間を、1回につき5点以内でかつ、1週間以内とする。
 - 5 貸出を受けようとする施設は、資料借受申込書（別記様式第7号）を館長に提出しなければならない。
 - 6 資料の返納に係る経費（郵送料等）は、借受施設の負担とする。
（一括特別貸出）

第15条 次の各号に掲げる県内の施設は、読書活動を助長するため、資料の一括特別貸出を受けることができる。

- (1) 公共図書館及び公民館図書室
 - (2) その他館長が適当と認める施設
- 2 前項の貸出を受けようとする施設は、一括特別貸出申請書（別記様式第8号）を館長に提出しなければならない。
 - 3 1の施設に対する貸出点数は、500点以内とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りではない。
 - 4 貸出期間は、貸出日から1年以内とする。

(利用資料の予約等)

第16条 本館に来館した利用者は、利用したい資料が、貸出中又は未所蔵等の理由で利用できない場合には、その資料について利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望をすることができる。

2 前項の利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望は、貸出予約申込書(別記様式第9号)を館長に提出して行うものとする。

3 前項で申し込んだ予約を利用者が取り下げたい場合は、予約取り下げ申出書(別記様式第10号)を館長に提出しなければならない。

4 中学生以上の利用者は、利用者検索用端末機を使用して貸出中の資料に対して自ら利用予約の手続きをすることができる。

5 前項の場合、パスワード発行申込書(別記様式第11号)を館長に提出し、自らパスワードを登録しなければならない。

(資料の複写)

第17条 資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条第1号の規定に基づき利用者の調査研究の用に供するために、本館が所蔵する公表された著作物の一部分について、1人1件につき1部のみ行うことができる。

第18条 資料を複写しようとするものは、複写申込書(別記様式第12号)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 複写に要する経費は、申込者の負担とする。

3 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負わなければならない。

第19条 次の各号に掲げる資料の複写は、許可しない。

(1) 技術的に複写が困難な資料

(2) 複写することによって損傷するおそれのある資料

(3) 前2号に掲げるもののほか、館長が、複写することについて不相当と認めた資料

2 本館の業務に支障をきたすと館長が認めたときは、複写枚数を制限することができる。

(調査相談)

第20条 調査相談をしようとする者は、口頭、電話、文書又は電子メールにより申し込むことができる。

第21条 調査相談の依頼に対しては、主として文献に基づいて調査し、回答を行うものとする。

第22条 依頼事項が次の各号に該当する場合は、調査相談に応じないものとする。

(1) 古書、古文書及び美術品等の鑑定並びに市場価格の調査

(2) 宿題、卒業論文及び懸賞問題に関する調査

(3) 翻訳及び注釈並びに医療相談及び法律相談

(4) その他館長が不相当と認めるもの

2 前項以外の場合であっても、特に経費又は時間を要し他の業務に支障を及ぼすおそれがあると館長が認めたときは、調査に応じないものとする。

(研究室の利用)

第23条 本館の資料を利用してグループ研究等を行う者及び館長が必要と認めた者は、研究室を利用することができる。

2 研究室を利用しようとする者は、研究室利用申込書(別記様式第13号)を提出して館長の許可を受けなければならない。

(補則)

第24条 この規程の施行に関し、必要な事項は、館長が別に定める。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 山形県立図書館利用規程（平成2年7月27日）は、廃止する。
- 3 この規程は、平成19年9月1日から施行する。
- 4 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 5 この規程は、平成26年5月20日から施行する。



ホームページ
P C ・スマートフォン用



ホームページ
携帯用

発行 山 形 県 立 図 書 館

〒990-0041 山形市緑町一丁目2-36

電 話 (023)631-2523(代)
(023)633-0165(本の相談)

F A X (023)625-6520